

JISA ダイバーシティ委員会：「障がい者雇用促進セミナー（大阪）」を開催

平成 28 年 12 月 14 日、グランフロント大阪・カンファレンスルーム（大阪府大阪市）にて、情報サービス業界の障がい者雇用促進に向けた取組の一環として、「障がい者雇用に向けたはじめの一步」と題してセミナーを開催した。本セミナーは、「これから障がい者雇用を始めたい」、「障がい者雇用に取り組み始めたが何をすればいいかわからず困っている」といった企業を対象として、JISA ダイバーシティ委員会／障がい者雇用促進チームが企画し、関係者除く 16 名が参加した。

■ 講演

- ① 演題：「大阪の障害者雇用の実態と障害者雇用を始めるにあたって」
講師：渡邊 和江 氏（大阪労働局職業安定部職業対策課 地方障害者雇用担当官）
- ② 演題：「ダイバーシティを生かす障害者雇用と JISA 会員企業の課題」
講師：柴山 慎一 氏（NRI みらい株式会社 代表取締役社長）
- ③ 演題：「合理的配慮 ～はじめの一步～」
講師：後藤 正善 氏（株式会社 DTS パレット）

プログラム前半は、大阪労働局地方障害者雇用担当官及び実際に障がい者雇用を推進している企業の担当者（上記 3 名）が講演した。①の渡邊和江氏の講演では、大阪における障害者雇用の状況に関する説明や、障がい者の種別と支援機関や障がい者の雇用を支援するための施策等の紹介があった。②の柴山慎一氏の講演では、JISA 会員企業における障がい者雇用の実態について数値データを用いて解説し、自身の特例子会社設立の経験を踏まえて、今後 JISA 会員企業が障がい者雇用をより積極的に進めるために、「障がい者の価値を引き出す経営を実現する」、「障害者の仕事を“システム化”する」、「自社に合う人を雇用し、育てる」の必要性を述べた。③の後藤正善氏の講演では、障がい者雇用促進につながるステップ（合理的配慮への第一歩）として「関心・理解・活用」を挙げ、それぞれについて特例子会社である自社の事例紹介を交えながらポイントを解説した。



■ 質疑応答による個別相談会



プログラム後半は、障がい者雇用における疑問点や不安などを気軽に質問・相談できる場を設け、参加者からの質疑に対して講師から制度の紹介や体験談、アドバイス等を交えて丁寧な回答があった。

※当日の質疑応答の内容は、[こちら](#)から参照できます。

本セミナーの参加者からは、「資料も豊富で、各種事例が非常に有益だった。」「講師の方の説明、質疑への応答が分かりやすく、とても良いセミナーだった。」「障がい者雇用をサポートする様々なサービスがあることを知り、活用したいと思った。」との声が上がった。JISA では今後も、同様の企画を通じて、情報サービス業における障がい者雇用促進に係る取組を進めていく。

(JISA ダイバーシティ委員会／障がい者雇用促進チーム)